



## 『カウンターの仕事と本の修理』

## 班



## カウンターとは?

カウンターは、図書館の資料の「貸出・返却」をするところです。  
その他に、以下のようなサービスも行っています。

- ・返却された資料の中身を確認する
- ・調べもののお手伝い（レファレンスサービス）
- ・予約、リクエストの受付
- ・図書館の利用方法、館内の案内

分からないこと・知りたいことはカウンターで聞いてみよう！



## カウンターで気をつけること

カウンターは図書館の「顔」です。利用者が気持ちよく図書館を利用できるように、心がけていることがあります。

- ★笑顔でていねいな対応する
- ★自分から利用者へあいさつする（こんにちは、ありがとうございます）
- ★利用者に背を向けない
- ★私用なおしゃべり、ふるまい、言葉づかいに気をつける

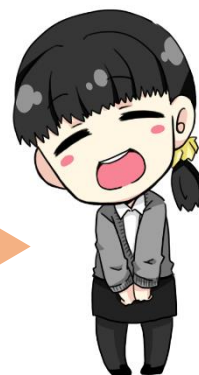


## 個人情報を守る

図書館は公共施設です。利用者に対する以下のような責任があります。

- ・図書館は利用者を差別しない
- ・図書館は利用者の秘密をもらさない
  - 利用者の住所、勤務先、または仕事や家族構成
  - 来館したかどうかという行動の記録
  - 何を read したか、何の分野に興味があるのかといった読書の記録
  - 複写物（コピー）を入手した事実
  - 図書館のコンピューターを使ってアクセス、入手した情報

読んだ本の記録は図書館に残りません！  
自分で読書手帳に本の記録を残してもらうようにすすめています。





## レファレンスサービスとは？

レファレンスサービスとは「利用者の調べものをお手伝いする」ことです。

探している本が見つからないときは、司書に相談してみよう。

どんな順序でどこを探せばいいのかなど、アドバイスをしてくれます。



## レファレンスサービスの流れ

1. 日本十進分類法で、利用者の調べもののテーマがどの分類なのか、請求記号は何か調べます。
2. 配架図を見て、実際に書棚へ行って、本を開いて答えを探します。
3. 見つけた資料を利用者さんにわたします。調べものの答えが十分かどうか、確かめられたらレファレンスサービスは完了です！

調べる時のポイント

★1冊の本＝ひとつの情報源と数えます。最低2冊、複数の情報源から、探した答えが正しいかどうか確かめることが大事です。

★むずかしいレファレンスは、一人で悩まずに何人かで相談します。一人では見つけることが出来ない資料にもたどり着けます。



## 実際にやってみよう！

答えがのっている本のタイトル

「」

「」

「」

「」



## 本を修理する前に

修理とは「こわれたところを直す」ことです。

Q. どうして本を修理をするの？

A. 本の役割は、中に書かれている情報を読んでもらうことです。  
やぶれたり痛んだりして読めなくなると、その役割が果たせなくなります。



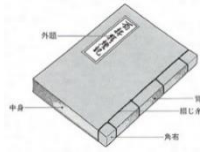
## 本のなりたち

本を修理するために、まずは本の歴史を振り返っていきます。

本のかたちは長い歴史の中で変わってきました。



巻物 700年頃



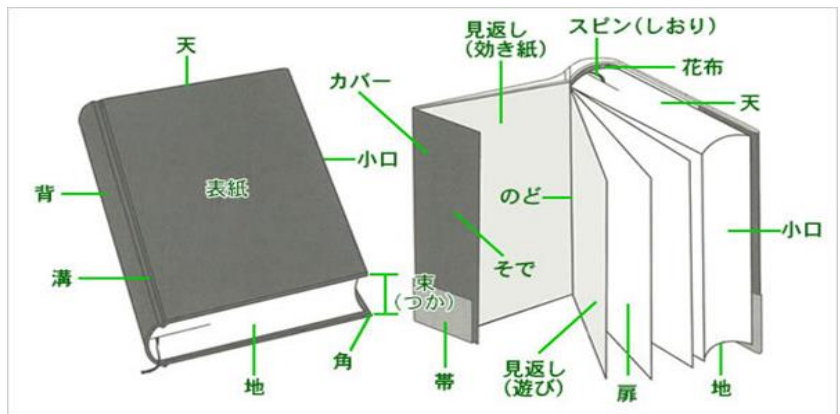
和本 1500年頃



洋式の本 1800年頃

現在の本はこんなふう  
にできています。

ページが固定されている  
「背」、本の表紙と中身  
をくっつけている「見返し」と「のど」の部分が  
こわれやすいです。



## 本を修理する

図書館の本を直すには専用ののりとテープを使います。  
背を糸でぬって直すこともあります。



家で自分の本を直すなら、専用ののりは木工用ボンドとアラビックのりを混ぜて代用  
できます。専用のテープの代わりに、メンディングテープを使うといいです。

※本の修理にセロテープは絶対に使いません！セロテープは時間がたつと傷むので、  
本を修理して長くはっておくことには向かないのです。

## 本を大切に

図書館の本はみんなのものです。修理をする前に、まず利用者ひとりひとりがちょっとした気配りと工夫をすることで長く使うことができます。



## まとめ

- ★カウンターは、利用者が図書館に来た時最初にたずねる場所です。笑顔とあいさつを大切にしています。
- ★市民の財産である図書館の資料はたくさんの方が利用します。みんなが気持ちよく読めるように、大切に使おう！
- ★どんな調べものにもお答えするのがレファレンスサービスです。

## 本の紹介

- 『図書館のひみつ 本の分類から司書の仕事まで (楽しい調べ学習シリーズ)』  
高田高史/監修 PHP研究所 (010/ピ)
- 『図書館のヒミツ 図書館が大好きになる (めざせ!キッズ・ライブラリアン 1)』  
二村健/監修 鈴木出版 (010/ニ)
- 『図書館のトリセツ』 福本友美子・江口絵理 講談社 (015/フ)
- 『本のわきし5000年』 辻村 益朗 福音館書店 (020/ツ)
- 『本と図書館の歴史 ラクダの移動図書館から電子書籍まで』  
モーリーン・サワ/文 西村書店 (010/サ)
- 『ほんはこうしてつくられる』  
アリキ、松岡 享子 日本エディターズスクール出版部 (023/ブ)
- 『ゲーテンベルクのふしぎな機械』  
ジェイムズ・ランフォード あすなる書房 (022/ラ)
- 『かんたん 楽しい 手づくり本』1~3 水野真帆/作 岩崎書店 (022/ミ)
- 『ろばのとしょかん コロンビアでほんとうにあったおはなし』  
ジャネット・ウィンター/文と絵 集英社 (E/ロ)
- 『図書館を心から愛した男 アンドリュー・カーネギー物語』  
ラーセン/文 マレー/絵 六耀社 (289/カ)

## 次回のおしらせ

次回のめざせ! 図書館マスターは、

7月4日(日) 「1冊の本が図書館の本になるまで①」

時間: 10:00~12:00 会場: 多目的ホール

見計らいと選書会議をして、どの本を図書館へ入れるかみんな決めてよう。